

令和4年度 学校評価アンケート（分析）

千葉市立緑が丘中学校

本校では、前期（7月）と後期（12月）の年2回、生徒・保護者・教員対象に「学校評価アンケート」を実施しています。4段階（4：あてはまる、3：ややあてはまる、2：あまりあてはまらない、1：まったくあてはまらない）の評価としていますが、「1」の評価があまりないため、「4」と「2」の割合に注目して分析しました。また、前期と後期で肯定的な割合（「4」＋「3」）が2ポイント以上上昇した項目と下降した項目にも注目して分析しました。

1 生徒アンケートから

- ・「あてはまる」（4）の回答率に注目すると、前期・後期ともに「私は部活動に自主的に取り組むとともに部活動の友達と仲良くできている」、「私は生活の規律を守り、きちんとした学校生活を送っている」、「私は清掃活動にきちんと取り組み、学習しやすい落ち着いた環境づくりを心がけている」の順で高くなっている。
- ・一方で、「あまりあてはまらない」（2）の回答に注目すると、前期・後期ともに上位3項目は「私は進路学習を通して、生き方、職業、進学に関心を持ち、将来につながるような努力をしている」、「私は学校日よりなど、学校からの手紙を持ち帰って、保護者にきちんと見せている」、「私は授業の内容をよく分かっている」となっている。
- ・前期と比較して肯定的な割合（4＋3の割合）が2ポイント以上上昇した項目は、「私は生命を大切にし、他人を思いやるとともに、くじけずに努力している」（89→93）、「私は安心して、楽しく学校生活を送っている」（87→89）、「私はバランスよくきちんと食事をとることや、病気の予防、事故防止を心がけている」（88→91）、「私は清掃活動にきちんと取り組み、学習しやすい環境づくりを心がけている」（94→96）の4項目となっている。
- ・一方で、前期と比較して肯定的な割合が2ポイント以上下降した項目は、「私は授業の内容が分かっている」（87→85）、「私は自ら進んで授業に取り組んでいる」（88→86）、「私は家庭学習を行っている」（87→84）「私は学校日よりなど、学校からの手紙を持ち帰って、保護者にきちんと見せている」（85→80）の4項目となっている。

「生徒アンケート」を分析すると、本校の強みは、部活動や生活の規律、清掃活動の取組にあり、前期と比べると、他人を思いやり、安心して楽しく学校生活を送り、学校生活に充実感を感じている生徒が増えているところにある。一方で、課題としては、家庭学習を含めた学習指導の充実と進路指導を含めたキャリア教育の充実にあると言える。

2 保護者アンケートから

- ・「あてはまる」（4）の回答率に注目すると、前期・後期ともに上位5項目は「学校は学校日より等で学校の様子や情報を分かりやすく発信していると思う」、「学校（学級）はお子様が安心して楽しく学校生活を送れるよう努力できていると思う」、「学校（学級）は事故防止や病気の予防に努めていると思う」、「お子様は、家庭学習を行っている」、「学校は部活動の充実に取り組んでいると思う」となっている。
- ・一方で、「あまりあてはまらない」（2）の回答率に注目すると、前期・後期ともに「お子様は自ら進んで学習に取り組んでいる」、「学校（学級）は他人を思いやる指導やいじめに対して取り組んでいると思う」の順で高くなっており、中でも「お子様は自ら進んで学習に取り組んでいる」は前期・後期ともに約25%と突出して高い数値を示している。

- ・前期と比較して肯定的な割合が2ポイント以上上昇した項目は、「学校（学級）はお子様が安心して楽しく学校生活を送れるよう努力できていると思う」（92→94）、「学校（学級）は事故防止や病気の予防に努めていると思う」（93→95）、「校舎内外がきれいに清掃され、学習にふさわしい落ち着いた環境になっていると思う」（91→95）の3項目となっている。
- ・一方で、前期と比較して肯定的な割合が2ポイント以上下降した項目は、「お子様は、家庭学習を行っている」（85→82）、「学校（学級）は他人を思いやる指導やいじめに対して取り組んでいると思う」（88→86）の2項目となっている。

「保護者アンケート」を分析すると、本校の強みは、事故防止や病気の予防に努めており、校舎内外に清掃が行き届き、生活の規律が適切にされ、生徒が安心して楽しく学校生活が送れており、学校の情報が分かりやすく発信されているところにある。一方で、課題として、家庭学習を含め生徒が進んで学習に取り組むことの指導や、他人への思いやる指導やいじめに対しての取組の強化が挙げられる。

これを受けて、令和5年度は以下のことに重視していく。

- 学習指導においては、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るとともに、授業形態の工夫や ICT 機器の効果的な活用を図り、思考力・判断力・表現力を育てる。
- 「毎日マイ学習ノート」、テスト計画表、宿題の取組を通して、家庭学習の習慣化と内容の充実を図る。
- キャリア教育においては、自分のよさに気付き、自分の生き方を考えられるよう「キャリア教育ブランドデザイン」に基づき、各学年の重点目標を明確にして、教科横断的に指導にあたる。
- 道徳教育においては、道徳の時間を要として今日的な課題と関連付けながら教育活動全体を通じて「心の教育」の充実に努める。